

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	長野市芸術館 presents クラシック音楽キャラバン 2016
事業主体 (連絡先)	一般財団法人長野市文化芸術振興財団 長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,567,417 円 (うち支援金: 1,844,000 円)

事業内容

長野市芸術館芸術監督である久石譲が提唱する「日常に音楽を」の趣旨に沿って、長野市域全体にクラシックの生演奏を届け、音楽に親しんでもらう機会を作る。また、優秀な若い人材に長野市内で演奏機会を与えることにより、良質な演奏がまちなかでも聴けるようになり、まちなかにぎわいにつなげる。

・8月から3月までに、市内小中学校、公民館、観光施設、公共施設などで32公演行った。

・クラシックを聴き慣れていない方でも楽しく鑑賞できるように、演奏家にはアウトリーチ・プログラムの研修を行った。



【青木島児童センターでの公演】

【目標・ねらい】

- ① クラシックの素晴らしさの周知
- ② 各地域住民の参加
- ③ 子どもや弱者への音楽の提供
- ④ 若手プロ演奏家の育成
- ⑤ 3,000人以上集客し、長野市芸術館開館に花を添える

事業効果

- ① 終演後のアンケートで「クラシック鑑賞がこんなに楽しいとは知らなかった」「子どもたちがこんなに集中して演奏を聴いたのは初めてです」といった感想を多数いただいた。
- ② 公民館活動として公演を行う機会なども得ることができ、地域の方々にもご参加いただけた。
- ③ 小中学校だけでなく、養護学校や、障がい者の多い病棟などでも公演を行った。
- ④ アウトリーチ・プログラムの専門家による研修・指導を行い、演奏レベルだけでなく音楽でのアプローチ方法にも長けた演奏家へと向上することができた。
- ⑤ アウトリーチ・プログラムは、少人数のお客様を相手に行う方が効力を発揮できるため、お客様が大勢になった場合は回数を分けて行った。そのため、当初30回の予定を32回まで増やして公演を行ったが、トータルで3,000人には届かなかった。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・例年よりも鑑賞後の満足度が上がった(翌年の小中学校からの開催希望が20%増加。主催者からのアンケート回収率が100%)。
- ・いい音楽を届けたいという演奏家の意識が高まり、お互いの公演内容についても忌憚のない意見を交わせるようになった。

今後の取り組み

この公演をきっかけに、長野市芸術館でコンサートを鑑賞してみたいと考えた市民が来場しやすいよう、敷居を高く見せない公演の企画を行いたい。

また、長野市域は広く、山間地なども多い。長野市芸術館へ足を運びにくい地域には、定期的にこの公演を受け入れてもらえるよう、主催者に働きかけたい。

登録期間を終えた演奏家が長野市内での演奏活動を継続できるような企画を実施したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)